

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	24年度決 算額[千 円]	25年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成26年度に取組む改革・改善内容	26年度予 算額[千 円]
1	一般	2	1	1	411地方分権と市民参加の推進	総務事務に要する経費	総務課		①市が所有する情報の開示請求に関する決定を行う。また、情報公開・個人情報保護審査会の事務を行う。 ②開示請求権の濫用とおぼしき行為があったときは、膨大な開示文書を処理する事務が発生する。	13,001	43,265	6精査・検証	①情報公開及び個人情報保護制度の基本的な考えは現状のままとし、公開の方法や請求方法などについて検証を行う。 ②開示請求手続きによらず、積極的な情報提供の促進により、情報の提供ができるよう取り組む。	13,843
2	一般	2	1	1	411地方分権と市民参加の推進	訴訟関係事務に要する経費	総務課		①係争中の事件について、市の主張を法廷で行う。また、法律相談について、顧問弁護士に法的な観点からの助言を受け、適正な市政運営を行う。 ②住民の権利意識が高まっており、職員のレベルアップが必要となっている。	3,618	3,386	6精査・検証	①適切なタイミングで法律相談ができるよう検証する。 ②トラブルを未然に防ぐよう、顧問弁護士への相談を適切に行う。	897
3	一般	2	1	4	412効率的で健全な行財政運営の推進	文書管理に要する経費	総務課		①適正な文書管理を行う。また、条例・規則等を、必要に応じて例規検索システム等へ掲載する。 ②保存文書の数が増加しており、文書保管場所の確保が必要となってくる。	66,308	64,829	6精査・検証	①文書の保存年限、方法等について検証する。 ②文書の保存年限の見直しを行い、保存文書の削減を目指す。	73,270
4	一般	2	5	1	412効率的で健全な行財政運営の推進	統計事務に要する経費	総務課		①関係機関から必要なデータを収集した後、取りまとめの上、統計かまがやを市のホームページ等で公開する。 ②変化の激しい社会状況の中、統計情報もその変化に対応した形での提供が必要となっている。	1,383	1,382	6精査・検証	①必要性の高い統計情報をより利用しやすい形で情報を提供する。 ②引き続き、正確な統計データを掲載できるよう、関係機関との連絡調整を図る。	1,441
5	一般	2	5	2	412効率的で健全な行財政運営の推進	諸統計調査事務に要する経費	総務課		①国の基幹統計調査等を実施する。 ②マンションのオートロック化などにより、調査員が苦慮している。	2,033	5,105	6精査・検証	①国や県からの調査の実施に関する標準的な方法に沿って、実施する。 ②自治体の実情に応じた調査が実施できるよう、調査関係者からの意見集約をもとに、県を通じて改善を国に要望する。	6,652
6	一般	2	1	2	412効率的で健全な行財政運営の推進	人事管理に要する経費	総務課		①採用・昇任試験の実施の他、人員の・相談・管理・フォロー等に関する事務を行う ②戦略的な採用試験の実施が課題	28,801	34,581	6精査・検証	①戦略的な採用試験を実施するため、試験方法の変更等を行ったが、質の高い人材を継続的に採用していくためには、さらなる検証・改善が必要のため ②引き続き戦略的な採用試験の検証・実施、また、定員の適正管理のため再任用制度の検証を行う	41,035
7	一般	2	1	2	412効率的で健全な行財政運営の推進	職員研修に要する経費	総務課	○	①人材育成基本方針に基づき、人材育成のため全職員に対して、それぞれに求められる各種研修を実施し、職員の能力開発を実現する ②改定した人材育成基本方針に基づいた研修計画の見直しが課題	2,929	2,753	7拡充	①平成25年12月に人材育成基本方針の改定を行ったが、今後はこの基本方針に基づき職員が必要な能力を身につけるため、研修・能力開発を実施する必要があるため ②人材育成基本方針に基づき、人材育成を実現していくため、研修計画の見直しとその計画の実施を行う	3,601
8	一般	2	1	2	412効率的で健全な行財政運営の推進	福利厚生に要する経費	総務課		①職員の健康相談・定期健診等の実施の他、人間ドックや部活動の助成、食堂施設の検討など、福利厚生に関する事務を行う ②職員の健康相談・定期健診・人間ドックの受診率向上、また、地下食堂及び屋上喫茶室について、「地下食堂及び屋上喫茶室の見直しに関する今後の検討方針」に基づいた検討をしていくことが課題	5,457	5,505	7拡充	①定期健診・人間ドック等の受診率は24年度の91%に対して25年度は92.3%となったが、引き続き受診率の向上を図る必要があるため また、25年度に策定した「地下食堂及び屋上喫茶室の見直しに関する今後の検討方針」を実現する必要があるため ②引き続き職員の健康相談・定期健診・人間ドックの受診をより促進することで心身の健康保持増進を図る また、地下食堂及び屋上喫茶室について、食堂等を魅力あふれる空間にし、食堂機能を残しつつ市民や職員の憩いの場となることを方針として検討することとしていたが、平成26年度中に業者の撤退が決定したため、業者も含めた今後のあり方について、方針を踏まえ検討を行う。	6,315
9	一般	2	1	2	412効率的で健全な行財政運営の推進	給与管理に要する経費	総務課		①職員の給与・手当・共済費の計算・支出・管理・調査・適正化に関する事務を行う。 ②人事院勧告・千葉県人事委員会勧告に基づき、財政状況・近隣市の状況を勘案した給与・手当の適正化が課題	2,337	2,312	7拡充	①システムを利用することで給与等の事務処理は迅速に行えており、今後も引き続き事務効率の向上及び人件費の適正化を図る必要があるため ②人事院勧告・千葉県人事委員会勧告に基づき、財政状況・近隣市の状況を勘案した給与・手当の適正化を行う	2,375
10	一般	2	1	10	412効率的で健全な行財政運営の推進	情報推進に要する経費	総務課		①庁内行政事務処理において、情報システム及び情報通信技術を活用することにより、事務の効率化・高度化、情報の共有化を行う。 ②システムのライフサイクルの適正実施と社会情勢の変化に対応した安定した稼働を保持することが課題。	35,234	38,230	6精査・検証	①行政事務を行う上で、情報システム及び情報通信ネットワーク等ICTの活用は必要不可欠のため、随時検証が必要である。 ②ネットワークセキュリティの適正化・可視化すること及びネットワーク中継機器の切替について検討を行う。	39,191

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	24年度決 算額[千 円]	25年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成26年度に取組む改革・改善内容	26年度予 算額[千 円]
11	一般	2	1	10	412効率的で健全な 行財政運営の推進	オンライン業務に要する経費	総務課			①住民情報関連業務、地方税業務、国民健康保険業務等セン ティブ情報を取扱う基幹系業務について、事務の効率化と市民 サービスの向上のためシステムの安定稼働を図る。 ②基幹系業務システムに係るサービス水準の維持・向上と安定稼 働が課題。	16,576	10,682	5改善	①安定した基幹業務システムの稼働が保持されるためには随時 新システム及び新機器のサイジングや新技術の適用可否判断が 必要である。 ②基幹業務システムを現行の自己導入型からクラウド型への移 行を行う。	28,923